

事業所名

はびりすサポートこはる日和・はびりすサポートあしたね

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

3日

法人（事業所）理念		当法人は「言語・心理・作業の専門職が定期的に個別療育を提供できる環境」を重要視しています。児童発達支援事業所・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援が担う重要な責務は、①「発達を捉えるきめ細やかな視点や評価軸」を持ち、②「発達の連続性の中で、一人一人の今を捉えた最適な関わりが提供出来ること」、③保護者やご家族に対して「成長の道筋や視点を共有し、信頼関係の中で成長に向き合うご家族を支えること」であると考えています。はびりすをご利用いただくことを通じて、のびのびと過ごす環境のなかで、居心地の良さを感じる居場所となり、ご本人・ご家族・職員が一緒になって成長を実感し、これからの可能性ある未来と挑戦と一緒に共有できる場所になれることを目指しています。					
支援方針		はびりすサポートこはる日和・あしたねは、主に専門的知識をもった職員が個別に直接支援を行う親子通園型の療育施設です。言語聴覚士と作業療法士、児童発達支援員が在籍しており、こどもや保護者の困り感に寄り添いながら、ひとりひとりの発達に沿った療育をオーダーメイドで提供していきます。また、親子通園型の個別療育や保育所等訪問の強みを活かし、ご家庭や園・学校など日常生活場面での共有を図り、療育場面のみの点だけではなく、たくさんの点を線にできるように取り組んでいきたいと思えます。 どんな日でも、こはる日和・あしたねに来所した際には、ほかほかな気持ちを感じ、「また明日ね！」と言いたくなるような、明日に向けての種まき（発達促進、困り感軽減対策、各機関との情報共有・連携など）ができるお手伝いをしていきたいと思えます。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活を送るうえでの健康は、こどもの成長においてもとても大事なものであると捉えています。健康であるために、睡眠や食事、排泄などの日常生活動作の自立度や獲得度の確認や促進、生活スタイルへの助言を行います。					
	運動・感覚	運動・感覚面の評価を行い、その結果を基に環境・活動の設定を行います。 運動面においては、粗大・微細運動、手と目の協調運動の得意・不得意をみていながら、必要なスキル獲得のための経験や方法、設定などを探していきます。 感覚面においては、感覚の鈍麻さや過敏さ、様々な感覚のアンバランスさがないのかをみていき、日常生活での困り感と照らし合わせながら、対策や助言などを日常生活動作で取り入れていけるように考えていきます。					
	認知・行動	こどもの認知発達を捉え、認知発達によっての行動変化を把握していきます。 認知面のバランスに偏りがいいのかを、検査や様々な教材を用いての確認・評価を行い、こどもの状態を把握します。偏りがあった際には、認知の強い面を用いながら、弱い面を支えていけるように課題設定を行います。行動面においては、よく観察し、好ましい行動・好ましくない行動・危険な行動の3つに分類していきます。行動前後の状況から予測される要因を考え、こどもの発達に沿った対策・対応をしていきます。結果として、好ましい行動を強化していけるように促していきます。					
	言語コミュニケーション	言語（理解・表出）・コミュニケーションの発達評価を検査や日常生活からの聴取、遊び、やりとりを通じて行います。こどもの発達段階に沿って、必要な力を身につけていけるよう環境や課題の設定を行います。コミュニケーションを楽しむために、状況理解を伸ばし、理解語彙を増やしていきます。理解語彙の種類も増やしなが、具体的なことばから抽象的なことばでの理解、指示理解の向上も目指していきます。理解語彙を増やしつつ、表出語彙も並行して増やし、表現力も高めていきます。模倣段階から自発的段階まで繋げられるように目指します。また、発語だけに重きを置かず、こどもの状況に応じてコミュニケーション手段の獲得を様々な視点から探り、提案していきます。					
	人間関係社会性	相手と関わる楽しさを感じる、お互いに楽しい気持ちを共有する、相手に応じて自分の行動を変えるなど人間関係や社会性の面での発達を促していきます。言語・コミュニケーションの促進を促していく上での大事な基礎となる部分となります。こどもの発達段階に沿った遊びを取り入れながら、楽しい経験を積み上げていきます。					
家族支援		親子通園の形態を通して、お子さんの成長や様子の変化と一緒に共有し、家庭での関わり方について、それぞれのご状況にあった方法を一緒に考え、お子さんの成長を実感できるようなお手伝いをさせていただきます。			移行支援	お子さんの療育施設での取り組みの様子を保護者を通じて所属する園にも共有できるように、情報交換をしながら幼稚園や保育園、小学校でも安心して支援が受けられるように取り組みます。	
地域支援・地域連携		保育所等訪問支援を実施し、関連機関と連携を図ることで、地域で暮らす環境との連携を図っています。また、お買い物の練習や公共交通機関の使用など療育活動の実践にむけた地域の連携先への相談や、地域向けの発達相談会の実施など、積極的に参画をしていきます。			職員の質の向上	1年間の研修内容を設定し、外部講師を招いた勉強会の実施や、検査勉強会の実施、ケースカンファレンスなどを定期的実施しています。経験の浅い職員への教育制度を設けています。社外研修も積極的に参加を促しています。	
主な行事等		クリスマス、節分、バレンタインなど行事に沿って制作活動を行っています。					